

227不整地運搬車を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2017	12	10~11	新築工事（基礎工事）を行っていた際、基礎工事が終わり、トップカーを使って土を基礎部分に戻していた。作業を終え、トップカーを後ろ向きに移動させていたとき、誤って被災者の左手が基礎とトップカーの操縦箇所の間で挟まれ、左手に骨折を負った。	23	7	30202	1~9
2	2017	12	9~10	当現場において、敷地内で敷鉄板をクローラダンプの荷台の上のせて運搬作業中、通路の凹凸で鉄板が跳ね上がり、バランスを失って、鉄板と荷台に挟まり両足を負傷した。	23	7	30109	1~9
3	2017	12	8~9	現場内にてバックホー0.4?に乗車しようとした際に、ゴムキャタ部で足を滑らせ転倒し、左大腿部をゴムキャタに強打して骨折した。	70	1	30199	30~49
4	2017	6	10~11	機械倉庫で、トラクターのアタッチメントの固定スタンドを固定するため、ピンを抜こうとしたが抜けなかったため、力強く引いたところ急に抜けてしまい、アングルが左足に落下して左足中指を骨折した。	54	4	140301	100~299
5	2017	5	9~10	林道開設工事のため法面を切土した土砂をパワーショベルで積み込み不整地運搬車に残土を100m位上流側の残土置場に搬出していた。残土を積み込むため残土置場から、パワーショベル付近に向かって上っていたところ、路肩に寄り過ぎたものと思われる、約17m下の谷側に転落した。	66	1	30106	1~9

6	2017	4	11~ 12	別添にて	69	1	30309	1~ 9
7	2016	11	10~ 11	伐採時に切り落とされたものをチップにするため破碎する場所へ運搬する作業をしていた。空になったクローラダンプをバックで破碎場所へ移動中、約3m下の地面に転落した。	44	1	60209	1~ 9
8	2016	11	9~ 10	舗装されていない山道で道路と水路を作る工事現場でキャリアダンプを運転して、バケットに生コンを入れてUターンした時、運転を誤って道路の法面を滑り、キャリアダンプと共ども約7m下に落下し、キャリアダンプの下敷きになった。	43	1	30106	1~ 9
9	2016	11	14~ 15	墓石を設置した後、残土が入ったコンテナバックを運搬車に積んで坂道を後向きで下っていた時、坂が思っていたより急傾斜だったため、運搬車が自分の方へひっくり返ってきてしまい、逃げたが間に合わず、挟まれてしまい負傷した。	66	5	10909	1~ 9
10	2016	7	15~ 16	パイプハウス内に於いて、クローラダンプの前面に立ち、エンジンを修理していた動作確認の為に前面より手を伸ばし、キーを回したところ、クローラダンプが急発進し、クローラダンプの前面が両脚に当たり負傷した。	35	7	60101	1~ 9
11	2015	12	8~9	墓石をクローラ運搬機で運搬し、荷降ろし時に、墓石と運搬機の間指を挟まれた。	39	7	30199	1~ 9
12	2015	10	15~ 16	敷地内にて大型トラックからクローラダンプを荷降ろし作業中、荷台のクローラダンプの椅子に手をかけて降りようとした時、掴まった椅子が外れて、地面に落下して右脚首くるぶしを骨折した。	54	1	80409	10 ~ 29
13	2015	8	5~6	納品の作業中に、空バットをトラックの荷台に載せるために、トラックの後方の観音開きのドアを開けてフックでドアを固定しようとした際、台風の強風で、フックを掛ける間もなくドアが押し戻されて、自分も吹き飛ばされた。その際、転倒し、負傷した。	38	6	40301	100 ~ 299

14	2015	8	9～ 10	道路面剥離作業に使用するクローラー運搬車の塗装作業を行っていた際、運搬車の荷台上で高圧洗浄ガンを使用し下地洗浄をしていたときに、水圧の反動で荷台から転落負傷。	41	1	30199	1～ 9
15	2015	6	11～ 12	モロオカでスギの4m材を搬出中、土場に到着し荷締めしていたワイヤーを外すため、荷台へ上がりワイヤーを外し、あおりのふちを後ろを見ながら降りようとしたところ、スパイク足袋が滑り、バランスを崩してモロオカから落ちた。	50	1	60201	1～ 9
16	2015	6	10～ 11	排水路新設現場でU字溝をバックホーを用いてキャリアダンプから荷下ろし作業中荷台で玉掛作業を行っていた。被災者がバランスを崩し落下した。	50	1	30199	1～ 9
17	2015	5	11～ 12	通路の段差のある所で砂利を積んだ運搬車を後進していた時に、端に寄りすぎてしまい、戻そうとした。しかし間に合わず、操作レバーを握ったまま横転してしまった。その時、レバーを握っていた左手人差し指を近くにあった墓所の外柵石との間に挟んでしまった。	34	2	30199	10 ～ 29
18	2015	4	9～ 10	大型土のう袋の移動を不整地運搬車により搬出する作業で、玉掛けを外す為に、不整地運搬車のあおり部分に足をかけた時、靴底の泥で足元が滑り大型土のう袋とあおりの間にはまり込み、体勢が崩れて転倒しそうになり近くの同僚が被災者を支えたが、右膝を負傷した。	51	2	30309	10 ～ 29
19	2015	1	10～ 11	農業機械修理の作業場で修理を依頼された機械の向きを変えるため、機械を牽引させていたところ、空間の狭い場所であったため、農業機械と壁に体が挟まれ、挫創した。	48	7	170209	10 ～ 29
20	2014	11	11～ 12	道路本線部分の土工事で、掘削・積込作業及びクローラダンプによる場内運搬作業をする場所で被災者がエンジンのかかった状態のクローラダンプの荷台に乗り、切土法面の丁張りを確認しようとしたところ、クローラダンプが動き荷台から転落し	64	1	30105	10 ～ 29

28	2012	6	14～ 15	階段から運搬車に砂を積んで下っていたところ、運搬車が横の手すりにギアが当たり、バックギアがニュートラルギアに入ったため、加速しておりたため、運転者は転び、足の上に運搬車がふみつけられて骨折と肉離れを起こした。	58	7	30309	1～ 9
29	2012	3	9～ 10	工区上流部の河川埋め戻し作業のため、キャリアダンプによる土砂利の運搬作業を行っていた。被災者は、水中ポンプの排水処理口付近で長靴の汚泥を洗い流しており、キャリアアンプが接近してきたのでいったん待避した。被災者は、キャリアダンプが下流方向へ前進したので運搬路を横断したところ、再度後進してきたキャリアダンプと接触し、受傷した。	42	7	30107	30 ～ 49
30	2012	3	16～ 17	不整地運搬車で土砂を運搬中、段差の大きい所へ侵入してしまい、運転室内（キャビン内）で体が大きく振れ、室内の壁に頭部を強打し負傷した。	50	3	30107	1～ 9
31	2012	2	8～9	不整地運搬車のポールを移動するために荷台へ上がった際、荷台が滑り易かったため誤って転落し（1m程度）、雪（氷）の塊に胸を強打した。	39	1	60201	1～ 9
32	2011	10	11～ 12	不整地運搬車で土を運搬作業中、車輛をUターンするため、方向転換を図っているとき、運転を誤り車ごと農道下に前方から滑り落ち負傷した。	44	1	30109	10 ～ 29
33	2011	10	11～ 12	A脇の山砂ストック場へ2tダンプで山砂の運搬作業中、置き場が一杯になった為、トラクターショベルで山砂の上に登り、かき上げていたところ、不安定な足場で、操作をミスしトラクターショベルが横転してその下敷きになった。	50	6	140301	50 ～ 99
34	2011	9	10～ 11	作業現場にて、生コンクリート用の砂利をダンプキャリアで運んでいる際、カーブを切るためハンドルレバーを回したところ、レバーが折れ、身体が畑の土の上に投げ出され、尻もちをつき、腰から背中にかけて痛みが走った。	59	1	10909	10 ～ 29
				洗車場にてドラム内のカスを取り出し、洗車は完了した。その				

35	2011	8	15～ 16	後、取り出したカスを小型シャベルにて片付け、再度運転席に乗りエンジンスイッチを切り、降車の際、足を滑らせ転倒し、肋骨3本、細い腰骨3本を骨折してしまった。	51	1	30199	30 ～ 49
36	2011	7	15～ 16	墓地の進入路入口付近の勾配のある場所で、敷地内へ敷均す真砂土を運搬する為、運搬車に小型のドラグショベルで積み込みを終え発進させようとしたところ、走行ギヤがニュートラルだったため、運搬車が急に転がり、ドラグショベルのキャタピラと運搬中のシャーシーの間に左足が挟まれ、骨折した。	67	6	30199	10 ～ 29
37	2011	5	5～6	建物解体作業現場内で、木材を重機でダンプに積込中、重機でつまんだ木材がAのヘルメットに当たり、その反動でダンプの上からAが転落してしまい右手首を骨折した。	41	6	30209	不 明
38	2011	4	15～ 16	砂防ダム敷地内（空地、土質地盤）で大型土のうに入れてある凌藻土を不陸運搬車（6 t）にバックホー（移動式クレーン）で積込作業中、不陸運搬車の荷台上で、大型土のうを積荷位置の良い位置に誘導しようとして吊荷に触り止めようとしてしまった。そのため不陸運搬車（H＝1 m 5 0 0）荷台よりバランスを崩し、土質地盤に背中より落ち腰椎を圧迫骨折してしまった。	63	1	30108	1～ 9
39	2011	3	15～ 16	A邸家屋解体工事の現場（B市）にてトップカーを捜査中に、現場にあったブロック塀に後方確認を充分に行わずに作業したためトップカーと後方にあったブロック塀に左足がはさまり骨折をした。	18	7	30209	1～ 9
40	2011	1	13～ 14	基地で運搬車を運転中に、運搬車の荷物を降ろす際、荷物の重量で運搬車が傾き、その反動で被災者が跳ね上がりヒザを打った。	63	3	30199	1～ 9
				A町Bの竹林でキャリー運搬車を使用し、竹の搬出作業をしていた。現場は杉の立ち木が進路の間に数本並んでいた為、方向転				

41	2010	12	16～ 17	換の操作を繰り返していた。その際に操作レバーを前進へ入れたつもりが、後進に入っており、クラッチを放した際、運搬車が自分に向かって来た為、咄嗟に体は避けたが、左足だけは避けきれず、杉と運搬車に左足を挟まれ左脛骨開放性粉碎骨折した。	56	7	60101	10 ～ 29
42	2010	12	16～ 17	運搬車にて材料荷上中にクローラーに材木がまき込み右旋回になり傾きかけたので2人でささえたが1回転して落下と共に作業員一人もキカイと落下。右足の太ももと足首を負傷。	67	1	10909	1～ 9
43	2010	12	15～ 16	素材生産事業現場で、林内作業者(A号)を用いて木材を搬出中、急カーブで運転操作を誤り、直進状態で約1.5m下の林地に落下、横転し運転席から放り出されて全身に打撲を負った。	68	2	60201	1～ 9
44	2010	10	11～ 12	A市柿園地にて柿収穫運搬中に運搬機のブレーキが効かなくなり、柿を積もう軽トラと衝突し左足を運搬車と軽トラの荷台の間に挟んだ。	33	7	60101	1～ 9
45	2010	9	14～ 15	林内作業において、クローラー運搬車の水温が上昇、オーバーヒートの状態になり点検のためふたを開け水蒸気により火傷したものの。原因としては本人の不注意だが再発防止対策として、安全教育を徹底したい。	26	11	30199	1～ 9
46	2010	8	5～6	タンクローリー運転中に、A市のB交差点にて、相手方のトラックが赤点滅信号を不停止して交差点に進入し、当該ドライバーは即座に急ブレーキを踏んだが、間に合わず、衝突した。衝突の衝撃により、運転席が潰された状態となり両足が挟まってしまい、打撲捻挫となってしまった。当方は黄色点滅信号であり、相手方に過失がある。	40	17	40302	10 ～ 29
47	2010	4	16～ 17	自社保有の下整地運搬車を整備中、荷台を上げた状況で油圧パイプを脱着した為、荷台が降下し、車体との間に挟まれて右足付け根を受傷した。	35	7	30199	30 ～ 49
			9～	墓地石積工事で裏込コンクリートを小型運搬車を用いて運搬中				1～

48	2010	1	10	誤って運搬車のクローラ（キャタピラ）で足をはさまれた	68	7	30199	9
49	2009	10	8～9	林道上において、カゴ用ネットの裁断作業をしていた時、クローラダンプが後退して来て胸と腰と足をひかれ死亡した。	50	7	30106	1～ 9
50	2009	7	6～7	国道上で、大型トラックのタイヤがパンクした為、スペアタイヤを外そうとして引っ張った時に、腰を捻り負傷した。	47	19	40301	50 ～ 99
51	2009	7	10～ 11	作業現場に於いて、キャリアダンプの冷却水を補充するために、ラジエーターキャップを外したところ、ラジエーターより熱湯が噴出し、腕等を火傷した。	49	11	30199	10 ～ 29
52	2009	6	10～ 11	不整地運搬車（クローラダンプ）で資材運搬中、運転操作を誤り、運搬車ともども法面を30m落下して、腕、背、脇等を骨折した。	68	1	30106	10 ～ 29
53	2009	6	14～ 15	住宅内の下水の工事現場において、残土を小型運搬車で運搬中、作業範囲の狭い場所で、運搬車を方向転換している時に、ブロック塀と運搬車に腰を挟まれて受傷した。	40	7	30199	1～ 9
54	2009	2	15～ 16	浄化センター植栽工事現場で、残土をキャリアで運搬中に方向転換をしようとした。その場所が狭かったため、キャリアの持ち手と浄化水槽の間に手が挟まれそうになったので逃げたが、左手指だけが残って挟まれた。	19	7	30199	1～ 9
55	2008	12	16～ 17	作業終了後、ローラーを片付けの為、路肩に止めようとしたところ、ローラーと共に転落し、ローラーが骨盤にのり、負傷した。	57	1	30209	30 ～ 49
56	2008	10	9～ 10	墓地内にて、解体した石をトラックまで運ぶ途中、運搬車（電動キャタピラー）を後退しながら旋回した時、安全不確認のため操作を誤り、墓石と運搬車の間に挟まれた。	42	7	10909	1～ 9
57	2008	6	14～	資材置場用のビニールハウス建設の為、作業台に乗り、ビニールハウスの骨組み結合をしていたところ、バランスを崩し、作	66	1	10909	1～

			15	業台から仰向け状態で転落した。					9
58	2008	3	11～ 12	地内より出された石を8輪小型ダンプ式運搬車に積み、石置場まで運転し石を下ろす作業中、運搬車と共に1.8m下に転落したものの。転落した際、運搬車の下敷きになり圧迫死したと思われる。	39	1	10105		100 ～ 299
59	2008	3	11～ 12	午前11:00頃、畑にて運搬車で肥料の配布中、運搬車に肥料を乗せた状態でバックをしていた最中、後方を確認せずに後退した際にスプリンクラーの支柱とハンドルの上に右手指の付け根を挟んだ時に右手指の皮がめくれて負傷した。	30	7	60101		1～ 9
60	2007	11	10～ 11	林道工事現場において、仮設道路上を不整地運搬車（6t積）で走行中、谷側の路肩に寄り過ぎてしまったため、運転を誤り5m下のスギ植林地まで転落して負傷した。	50	1	30106		50 ～ 99
61	2007	7	9～ 10	河川総合流域防災工事現場において、小型運搬車を移動中、現場のバラスの上に乗上げ、すべり、誤って小型運搬車とパワーショベルに足をはさまれ負傷した。	46	7	30107		1～ 9
62	2007	5	15～ 16	被災者は不整地運搬車（2.5トン車、空荷）を運転し、川表法面より川裏法面へ下り勾配法面を移動中、同運搬車が斜面で転倒し、その下敷になり、死亡した。	52	1	30107		10 ～ 29
63	2007	4	15～ 16	運搬車により木材の搬出作業中、林内道を右に曲がったところ、先日からの雨により地盤が軟らかく、ゆっくりと車体が傾き転倒しそうになったので、ブレーキを掛けて飛び降りたが、軟らかい地面に足を滑らせ本人が転倒した。そこへ、運搬車が横転し、手が下敷となり負傷した。	21	1	60201		100 ～ 299
64	2007	4	10～ 11	地滑り防止工事で、法尻の崩壊防止工事のため、円筒形じゃかごを施工していた。中詰め用栗石を2tダンプで途中まで搬入し、キャリアに積み替えるため、被災者が操作していたが、操作を誤りダンプとキャリアの間に挟まれて腹部打撲、負傷し	37	7	30199		1～ 9

				た。				
65	2007	4	11~ 12	墓地にて墓石解体、移設作業時、運搬車（小型キャタピラ）で階段を後進で墓石運搬中、クラッチが滑り、運搬車と手摺に足を挟まれ負傷した。	33	7	30309	1~ 9
66	2007	3	15~ 16	農道舗装工事作業中、泥の運搬をするため、小型運搬車をバックホウに近づけていた時、誤って運搬車のブレーキハンドルと、バックホウのバケット部分に手を挟めてしまい、負傷した。	51	7	30106	1~ 9
67	2007	2	13~ 14	山腹工事現場で、不整地運搬車に引っかかっていたワイヤーを取り外そうとして引っぱったが取れなかったので、精一杯の力で引き抜こうとしたところ、簡単に取れてきたので勢いあまって地面を一回転し、その先の木の切株に体が当たり負傷した。	51	2	30107	30 ~ 49
68	2006	12	16~ 17	河川管理道上において、河川の埋積土砂搬出作業中、小型積載運搬車（750kg積載）で搬出作業していた。後進運搬（方向転換）作業をしていた際、あやまって足をすべらせ転倒し運搬車に踏まれ負傷した。	46	7	30107	1~ 9
69	2006	11	11~ 12	建設会社作業所内でベルトコンベア付きキャリアダンプの整備点検中、除去できなかったゴミをスロー運転で除去しようとしていて、左腕をコンベアの下から上に巻き上げられるようにコンベアとフレームの隙間に挟まれ、負傷した。	27	7	30199	10 ~ 29
70	2006	10	9~ 10	改修工事現場において、生コンクリート打設作業中、運搬車のハンドルとブロック外柵のあいだに挟んで負傷した。	46	7	30309	1~ 9
71	2006	10	9~ 10	電柱をクローラーに積んで移動していたところ、道路の段差により横転して右足が電柱に挟まれた。	40	7	30309	1~ 9
72	2006	8	16~ 17	生コン打設後の空ホッパーをクローラダンプ（6t）の荷台に降ろし、転倒防止のためロープで固定しようとして荷台縁上で作業中、足元が滑り転落しそうになりホッパーに掴まったが、傾斜	67	1	30199	10 ~

				地で不安定であったためホッパー共、工事用道路に落下し被災者の上にホッパーが落ち負傷した。				29
73	2006	7	8～9	ゴルフ場グリーンホールを転圧後、次のホールに管理道を移動中、前方から軽トラックが来たため避けようとした際、転圧機のブレーキを踏んだが、前日の雨により道路が濡れていたため、スリップしてハンドルが回転し、バランスを崩して管理道脇の谷へ転落し、負傷した。	30	1	140301	50 ～ 99
74	2006	5	16～ 17	副ダムの床堀の土を、主ダムの埋土にするために、仮設の道路を使用してクローラーに載せて運搬作業をしていた。通常は仮設道路（坂道）を登り、残土をおろし、後ろ向きで坂道を下っていたが、災害発生時は前向きに降りていたため、前部の重いクローラーが前転し、下敷きになってしまった。	46	2	30108	1～ 9
75	2006	1	13～ 14	溜池のブロック積工において、天端コンクリート打設のため、トップカーにて生コンの運搬をし法肩にて荷下ろしをする作業で、操作を誤って停止できずそのまま3m下に転落した。	73	1	30110	1～ 9
76	2006	1	11～ 12	フリーーム敷設工事現場で堀削土砂を不整地運搬車で橋下をくぐりながらの運搬作業中、後方確認が不十分だったため運搬車と橋の天版に挟まった。	33	7	30107	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。